

7929

☆共JBN 外1447 (産業、通信) (01・11・8)

【産業担当デスク殿】7929

◎無線LAN技術活用で協定 システモニクとレイセオン

【サンノゼ (米カリフォルニア州)、ドレスデン7日PRN=共同JBN】システモニク (Systemonic) 社は7日、レイセオン社の商業エレクトロニクス事業 (RCE) と多面的な協定に調印したと発表した。

この協定でRCEは、レイセオンの先進的な無線LAN (WLAN) 資産から利益を生み出すパートナーを得ることになる。システモニクは取得した技術を活用して、世界の無線データ、ビデオ、音声ネットワークに集中する全面シリコンのシステム・ソリューションを提供する。

協定により、システモニクはRCEのRFネットワークング・グループの製品、知的所有権を獲得した。この資産リストのトップにあるのが同グループの5ギガヘルツRFチップセットである。

「トンデラヨ (Tondelayo)」として販売されているこの2チップ・セットは、システモニクの主力製品ファミリーで、「ハイパーソニック (HyperSonic=登録商標)」のコードネームを持つ柔軟なCMOSベースバンド集積回路 (IC) に調和する。また、システモニクはトータルソリューションの一環として、レイセオンの電力増幅器の設計、再販をサポートする。

システモニクのルディガー・シュトロウ社長兼最高経営責任者 (CEO) は「業界をリードする5ギガヘルツRF技術を取得できたことを誇りに思う。レイセオンのような通信技術のリーダーとの関係を深めて、この技術を生産段階に移行させる。また、RF、プロトコル・ファームウェア設計者やマーケティング、RF運用要員からなる世界水準のチームを迎えるのはうれしい。組織の結合で、エンドユーザーのために透明な接続性を可能にするというビジョンを実現できる立場になった」と語った。

この取引、取り決めに伴い、レイセオンはシステモニクの株式を取得した。さらに、レイセオンは防衛事業で独占使用するための現世代RF技術について幅広くライセンス供与を受ける。両社は両ライの製品定義について協力し、チャンネル・パートナーとして協力する。

RCEのジャック・ウォーラー社長は「この協定は無線技術に対するレイセオンの投資を進めるものだ。レイセオンの中核技術をシステモニクのエンジニアリング、マーケティング能力で引っ張るという創造的な手法を見つけた」と語った。

この取引の結果、システモニクが企業、家庭、インターネット・アクセスのホットスポットで、WLAN市場に集中するOEMにすべてのソリューションを提供する。ベースバンド、RF製品も、ポイントツーポイント、ポイントツーマルチポイントの固定無線分野など他の市場で提供される。一部の市場ではベースバンドとRFサブシステムは独立して売ることができる。

レーマン・ブラザーズの通信部品上級アナリストは「これは両社にとって大変いいことだ。レイセオンは無線通信市場向けの商業化技術に集中する活動的なチームへのアクセスを得るし、システモニクはどこでも使える最良のRF技術へのアクセスを得る」と語った。

▽マルチ標準現実

総所有コストを最小化するために、無線ネットワーク・ソリューションは市場で有力な既存、発展中、新興の複数の標準を透明にサポートしなければならない。IEEE 802.11bは世界標準となっているが、いくつかの地域的標準が次世代プロトコル、性能水準での優位を目指して競っている。

北米はIEEE 802.11a仕様を採用し、802.11gを検討中である。

欧州では、ハイパーLAN/2か802.11hが将来の高速通信プロトコルとなりそうだ。地域的紛糾が終われば、日本は世界標準に加えて、自国独自の高速無線ネットワークを使うとみられている。システムオンクだけがこれらのプロトコルを処理できる柔軟なソリューションをつくり出しつつある。

地域的標準の多くはまだ流動状態である。確立されている802.11b仕様の修正、改善さえ最終的になっていない。これらの標準の変化と高性能への当然の技術移行とを合わせ考えると、無線通信の世界は今後長期にわたって複数標準、プロトコルの世界になるだろう。

システムオンクの手法はプログラム可能な性質なので、有力OEMはベースバンド、MACレイヤー・ソフトウェアのアップグレードで自社製品の重要な面をアップグレードできる。

システムオンクのDSPベースのソリューションはドメイン特定で、汎用DSPの構造に基づいていない。このため、これらのソリューションはハードウェアに組み込んだチップセットに比べてエリア、パワー効率が高く、どの環境でもそこに存在する多様なプロトコル標準への「システムオンク・ディテクト・アンド・コネクト (Systemonic Detect and Connect=登録商標)」アプローチが可能なプログラム可能性という利点もある。

販売マーケティング担当のジム・ブランド副社長は「目標はエンドユーザーの総所有コストを減らすことだ。例えば、IT管理者が複数標準をサポートするPCカードを買えるようにする。さらに、最大速度で領域を提供することに集中しており、これによってアクセスポイントの数を減らせる」と語った。

RFネットワークング事業が加わったことで、システムオンクは真に完全な無線システム・ソリューションの提供が可能になる。ハイパーソニックの将来バージョンは引き続き複数プロトコルのデジタル処理を提供する。

レイセオンの世界水準のRF技術は、複数標準の現実をコスト効率よく処理できる補完的なフロントエンドのソリューションをシステムオンクに提供することになる。これによって世界のOEMは地域的な必要条件に合わせた製品を敏速に作り出し、変化する標準に合わせて製品ラインを移行させることができる。

▽システムオンクについて

無線通信プラットフォームの供給会社で、世界でさまざまな標準対応の無線データ、ビデオ、音声ネットワークを動かす完全なシリコン・システム・ソリューションを提供している。同社のリコンフィギュラブルな柔軟プラットフォームで、顧客は複数標準をサポートする高性能、低電力消費で、総所有コストの低い無線通信製品をより速く市場に出すことができる。

昨年11月、アトラス・ベンチャー、APAXヨーロッパ4が幹事でクロンムt、ロバートソン・スティーブンス・ベイビュー2000、LP、レーマン・ブラザーズが加わった投資コンソーシアムから3000万ドルの第2ラウンド資金提供を受けた。

同社はドレスデン大学での4年間の研究後、1999年に設立された。

▽RFネットワークングについて

RFネットワークングはチップセット、ラジオ参照設計の形でOEM、システム・インテグレーター(SI)に独占的にソリューションを提供した。システムオンクはこれらOEM、SIとの関係を活用して前進する。

これらの設計は業界標準に合わせて、フルサービスの無線ネットワークに統合するための市場の必要条件を満たすように開発された。開発、製造の段階を通じて、RFネットワークングは顧客が製品を市場に出す時間を短縮するのを助けるため、技術支援を提供した。RFネットワークング・グループはレイセオンの事業部門であるRCEの一部だった。

(了)

▽問い合わせ先

in North America, Bruce LeBoss of Chipshots,
1-408-541-8744, or leboss@chipshots.com, for Systemonic
Systemonic

Jim Higgins, 1-508-490-1391, or Jim.higgins@systemonic.com
in Europe, Antje Davids, 49-351-80800-731
antje.davids@systemonic.com
<http://www.systemonic.com>

◎「英雄たちへの賛歌」発売
5大音楽会社が非営利で

【ロサンゼルス7日PRN=共同JBN】米国と米国精神を支援するエンターテインメント業界の異例の協力で、5大音楽会社（ベルテルスマン・ミュージック・グループ=BMG=、EMI、ソニー・ミュージックエンタテインメント、ユニバーサル・ミュージック・グループ、ワーナー・ミュージック・グループ）が共同で、「アメリカ：英雄たちへの賛歌（America: A Tribute to Heroes）」の2枚セットのCD、DVD／ビデオカセットを非営利で発売し、9月21日に1億人以上が聴いた歴史的な2時間の賛歌による募金の努力を継続することになった。

4大放送ネットワークのABC、CBS、FOX、NBCは、特に設立した「9月11日テレソン基金」（ユナイテッドウェイがコストを負担して管理する）のための募金で犠牲者、遺族を直接救援するという信じがたいほどのエンターテインメント業界の結集を組織し、経費を全額負担した。

このCD、DVD／ビデオカセット販売による純益は「9月11日テレソン基金」に渡される。5大音楽会社は自社アーティストのレーベル独占条項を一時停止し、このCD、DVD／ビデオカセット販売については自社管理下の出版報酬を放棄する。放送の場合と同様、出演者もすべての権利、報酬を放棄する。

21曲を収めた2枚セットのCDはインタースコープ・レコーズが12月4日に米国、カナダで発売し、ユニバーサルが販売店となる。このCDセットは北米以外ではソニー・ミュージックエンタテインメントが12月3日から発売する。

ライブイベントの完全収録版であるDVDとビデオカセットは、ワーナー・ブロス・レコーズがCDと同じように世界で発売する。

音楽トラックに含まれている主な曲は次の通り。

ブルース・スプリングスティーンの「マイシティー・オブ・ルーイン」、ステイビー・ワンダーとテーク6の「ラブズ・イン・ニード・オブ・ラブ・ツデー」、

U2の「ウォークオン」、フェイス・ヒルの「ゼア・ウィル・カム・ア・デイ」、トム・ペティとハートブレイカーズの「アイ・ウォント・バック・ダウン」、エンリケ・イグレシアスの「ヒーロー」、ニール・ヤングの「イマジン」、アリシア・キーズの「サムデー・ウィル・オール・ビー・フリー」、リンプ・ビズキットとグーグールドールズのジョン・ルゼズニクの「ウィッシュ・ユー・ワー・ヒーロー」、ビリー・ジョエルの「ニューヨーク・ステート・オブ・マインド」、ディクシー・チックスの「アイ・ビリーブ・イン・ラブ」、デーブ・マシューの「エブリデイ」、ワイクレフ・ジーンの「リデンプション・ソング」、マリア・キャリーの「ヒーロー」、ボン・ジョビの「リビンオン・ア・プレーヤー」、シェリル・クロウの「セーフ・アンド・サウンド」、スティングの「フラジャイル」、エディー・ベダーの「ロングロード」、ポール・サイモンの「ブリッジ・オーバー・トラブルド・ウォーター」、セリーヌ・ディオン「ゴッド・ブレス・アメリカ」、ウィリー・ネルソンがゲストとのスーパースターたちと歌った特別版の「アメリカ・ザ・ビューティフル」

英雄心、愛国心のために声の協力をした有名人、引用された米国の偉大な指導者はムハマッド・アリ、エーミー・ブレンマン、ジム・キャリー、ジョージ・クルーニー、トム・クルーズ、カメロン・ディアス、ロバート・デニーロ、クリント・イーストウッド、カリスタ・フロックハート、デニス・オブライエン、ジュリア・ロバーツ、レイ・ロマーノ、ウィル・スミス、ジミー・スミッツ、シーラ・ワード、ロビン・ウィリアムズ。

「アメリカ：英雄たちへの賛歌」は米国の家族と国際共同体が一緒になって、9月11日の恐るべき事件と人間性に対する憎むべき攻撃の結果から被害を受けた犠牲者と遺族を助けるため、精神と資金を集めることを目指している。

関係した人すべてが能力、時間、サービスを提供した。50人以上の音楽家、俳優が、米国の35以上の放送網、ケーブルテレビ網、8000のラジオ局、インターネット、175カ国以上に駐留している米軍要員向けの米軍放送網で放送され、210カ国以上のテレビに提供されたコマーシャルなしの同時放送に参加した。

(了)

▽問い合わせ先

Barbara S. Brogliatti for America: A Tribute to Heroes

1-818-954-7667